

会議名	清水町都市計画マスタープラン策定委員会(令和5年度第2回)		
日時	令和5(2023)/11/22(水) 19:00~20:00	会場	清水町役場 庁議室
出席者	委員長) 建設業協会 協会員 紺野宏 副委員長) 商工会事務局 事務局長 岡本進 委員) 社会福祉協議会 社会福祉協議会事務局 脇原康誠、PTA連合会 副会長 金田京美、 子ども・子育て支援会議委員 委員 堀敦子、商工会青年部 副部長 有澤輝彰、 シルバー人材センター 理事長 太田昭夫 事務局(建設課) 課長 山田寿彦、課長補佐 小笠原国雄、 住宅都市係 係長 世良田航、主事補 若原颯汰 コンサル 清水克範、黒澤紀子 欠席者 なし		
発言者	発言要旨		
	1.開会 (建設課 山田寿彦) 2.委員長あいさつ (委員長 紺野宏) 3.議案 (1) 第4章「将来目標と都市構造」について (建設課 小笠原、コンサル 清水より説明) 4.その他 今後のスケジュールについて (建設課 小笠原より説明) (以下、意見または質疑応答) 3.議案 (1) 第4章「将来目標と都市構造」について 紺野委員 小笠原 ・御影地区は考えなくてもよいのか。 ・御影地区は都市計画区域に入っていないため、この計画には含まれない。その代わり総合計画等の別の計画でまちづくりを行っていく。 紺野委員 小笠原 ・空き家に関して、解体や土地の利用など、役場として対応する計画はあるのか。 ・空き家バンクや解体補助金の支給で現状は対応している。解体費が高騰している状況や空き家購入後の放置も可能性として懸念されるため、柔軟な対応ができないか役場内でも協議していきたい。 紺野委員 ・この先、空き家が増えていくのは確実なので、なんとか対応を検討してもらいたい。 岡本委員 ・いちまる跡は何でも建てられるようだが、まちなかを高度利用していく考えであれば、用途を限定した土地利用に変更していくことも必要だろうと思う。 小笠原 ・今回のマスタープランが用途地域見直しの基礎になるため、来年マスタープランが完成した後、体育館の建て替えの件も含めて用途地域の見直しを検討していく。		

脇原委員	・清水公園を交流拠点にしたのはどのような理由か。
小笠原	・昔からあり親しみやすく、ボートやパークゴルフなど町内外からも利用者があるため、交流拠点とした。
脇原委員	・中心部からは少し離れているため、中央公園など中心部で別途交流拠点があれば良いと思う。
金田委員	・何を話して良いか分からないので、ポイントを絞って具体的に聞いてもらえると話しやすい。
小笠原	・意見してもらいたい項目を予め質問形式で用意するなど、次回配慮させてもらう。
太田委員	・国道274号は、平成28年の洪水災害時に川が氾濫し浸水した。そういった災害発生時のことも考えた方が良くと思う。
小笠原	・まちづくりの目標に「過去に甚大な被害を受けた豪雨による河川洪水や内水氾濫に対応するため、浸水を想定した施設整備を進めます。」とあるため、この後の具体的な計画の中で防災の点も盛り込んでいけるよう考えたい。
小笠原	4.その他 ・本日いただいた意見を踏まえ、11月30日に都市計画審議会を行う。次の策定委員会は来年2月を予定している。2月の議案は第5章の全体構想についてとなり、土地利用や交通関係、公園緑化関係、防災など基本方針を示すものとなっている。
	以上